

広 報 誌

とよひら・りんく

第1号

平成24年7月発行

札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会 発行

広報誌「とよひら・りんく」の発行にあたって

～住み慣れた地域で最期まで～

札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会
「とよひら・りんく」

会 長 中島 茂夫



全国的に高齢化は進んでおり、この社会現象は、当地域も例外ではありません。

今後も住み慣れたこの地域で皆さんが支え合い、健やかに暮らしていただけるように、現在の問題への対応の他、これから5年先、10年先の将来の町づくりが必要です。そこで、我々は、平成23年度から厚生労働省の「在宅医療連携拠点事業」に参加し、これからの在宅医療、在宅医療のサービス提供体制を地域の医療・介護の関係職種が集まり、考えようと、平成23年6月に札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会「とよひら・りんく」を設立しました。

札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会「とよひら・りんく」

会 長 中島 茂夫(西岡病院 院長)
副 会 長 松本 修二(松本内科クリニック 院長)
五十嵐知文(西岡病院 副院長)
寺本 信 (西岡水源池通りクリニック 院長)

事 務 局 西岡病院 地域連携室(岡村・川村)
電 話 011-853-8322
ホームページ <http://www.toyohiralink.jp/>

昨年度(平成23年度)は、地域の医師、歯科医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、介護支援専門員等が一堂に会し、地域の皆様に在宅で医療・介護サービスを効率的に受けて頂くための基盤整備を始めました。これまで以上に、医療・介護のサービス提供に関わる職種間での情報共有が出来、スムーズに連携が図れるようになってきました。

今年度(平成24年度)は、更に地域の皆様への普及啓発として、地域講話や市民研修会等を企画し、一緒に在宅医療、在宅介護の在り方を考えていきたいと思っております。

年齢を重ねても、病気や障害がありつつも、地域の皆様が住み慣れたこの地域で暮らし続けられるよう、在宅医療、在宅介護の充実に向けて取り組んでいきます。

この広報誌「とよひら・りんく」は、本協議会の活動を幅広く知って頂くために、作成を致しました。多くの方にお読み頂ければ幸いです。

本協議会の活動につき、在宅医療、在宅介護に関わる方はもちろん、地域の皆様からのご意見を頂ければ幸いです。